



ESD SOCIAL&PERSONAL

ESD TOKYO

佐藤駿介

目次

- 1 . 取り組みの内容
- 2 . 理解を得ていくためには
- 3 . 実践上の工夫
- 4 . 環境の重要性

1. 取り組みの内容

年間 20 ～ 30

勤務校ではプロジェクト主体でESDに取り組んでいる

【具体例】

- ・小学生向け授業(with玩具会社)
- ・Dance×SDGs(with舞踊団)
- ・ファッション×SDGs(withファッションブランド)
- ・映画「めぐみ」上映会(with内閣府)
- ・フードドライブ(with調布市フードバンク)
- ・三校合同文房具回収(with他校×2)
- ・受動喫煙ワークショップ(with関東ESDセンター)



勤務校ではプロジェクト主体で ESDに取り組んでいる



1. 取り組みの内容

基本コンセプト：生徒の主体性に委ねる

⇒生徒発信の学習・活動プログラムを、デザインしていく

(理由) ①主体性のある学びを行うことができる

(成功も失敗も、生徒のものにする)

②生徒の社会化のタイミングは、それぞれである

→本校のSDGsに関する活動は、生徒が企画書を持ってきて
始まる課外活動という形式を採っている

1. 取り組みの内容

カリキュラムに生徒を合わせる
のではなく、
生徒の興味に沿った学習プログラム
を組み立てていく

1. 取り組みの内容

学校の体制

...SDGsを主管する分掌が3年前に設立

(ユネスコスクール、SDGs活動、模擬国連活動を担当)

→担当教員6名、予算(PTAから)あり

⇒学園を挙げてバックアップしてもらっている

2. 理解を得ていくためには

要因...学校の理念から、SDGs活動に落とし込む

→本校の場合はカトリック校としての理念から
SDGsに取り組むべき理由を説明している

⇒管理職・学園の理解が得やすくなり、
協議しやすい体制が整えられる

自分の力を
誰かのために



2. 理解を得ていくためには

「パーパス」を考える

「我々は何者か」、
「我々が充足すべき世界のニーズは何か」という
2つの問いの重なる領域
としてパーパスを定義



2. 理解を得ていくためには

重要なことは

なぜ「私が」(この学校が)
SDGsに取り組まねばならないのか

に応えること

2. 理解を得ていくためには

学びには、世界のニーズ(SDGs)だけでなく、
私は何者か(何に興味があるか)も重要

⇒「SDGsにどう取り組むか」だけでなく、

「あなたは何をしたいのか」も同時に重要

※例年のイベント的取り組みが尻すぼみになる理由

こうした目的設定はカリキュラムマネジメント
の観点からも重要

3. 実践上の工夫

大事なことは授業と自主活動の特徴を理解すること

- ・授業や学年行事：画一的

- 全員にインプットできる反面、気持ちがついてきづらい

- ⇒社会問題やSDGsの接点を作る

地域インタビュー、模擬国連
動画コンテスト、国連壁新聞

3. 実践上の工夫

大事なことは授業と自主活動の特徴を理解すること

- ・自主活動：個人的

- モチベーションが高い反面、全員を対象にしづらい

- ⇒個人的なテーマを深めていく

個人プロジェクト
※IBのCASをモデルに

3. 実践上の工夫

先生が企画を
考える必要が無い

【自主活動の例】

書道部の生徒「書道の持続可能性を考えたい」

→紙の無駄遣いをバナナペーパーで解決できないか

→①他校との協働プロジェクトを通じた

バナナペーパーの啓発活動

②ザンビア現地との交流をしながら

国際支援の在り方を考える



3. 実践上の工夫

世の中で言われるような素晴らしい取り組みを、
いきなり、それも授業で、やろうとするから無理がある

⇒私立学校の強み(長期的に取り組めること)を活かして
学校の文化を醸成していくようなイメージ
※先輩をロールモデルに

3. 実践上の工夫

ただし、生徒が積極的に取り組みたくなるような
テーマを探す手助け、きっかけづくりは同時進行で行っていく

【実践例】

- ①長期休みに外部活動に参加させるなど、興味を刺激する
- ②授業でしっかりと身の回りのSDGsについて意識させる

3. 実践上の工夫

総合的な探求の時間でESDやSDGsを取り扱う場合、
その授業時間そのものと同じくらい

①どれくらい「自分の興味」を事前に深められるか
(SDGsなどを自分ゴトできているか)

②授業時間を超えて、取り組んでいけるか
(そのための環境や雰囲気はあるか)

といった要素が重要になってくる

4. 環境の重要性

【自主活動のメリット】

- ・「自主性」の項目をクリアしやすい
- ・自律的に行うので、プロジェクトが成功しやすい

※マーティン・スコセッシ

「最もクリエイティブなことは、最も個人的なことである」

4. 環境の重要性

ただし自主活動を行うには環境が必要(ex.部活)

※年間数十ものプロジェクトが動くために重要なこと

①当たり前のようにプロジェクトが行われている

②それが後輩の耳に、ちゃんと届く

→雰囲気づくりには、気を使っている

4. 環境の重要性

学校内に自主活動の場が無ければ、学外でも

例：SDGs文化祭

SDGsに興味のある中高生が、
普段通う学校を飛び出して、
地域や学年の違う他校の生徒と
協働して実践・発表をする場



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

4. 環境の重要性

生徒が発表したり、評価される場を用意する

例：ESDさーくる

ESDに取り組んでいるが、発表する場がない生徒・先生に
発表する機会を与えるために作られた、相互発表の場

5. まとめ

「誰ひとり取り残さない」という目標を取り扱うのだから
積極的な生徒も、そうでない生徒も、
SDGsに興味がある先生も、そうでない先生も
誰ひとり取り残さないような工夫をしていきたい

5. まとめ

【具体的に】

- ・生徒が自分ゴト化できるように、生徒の興味を尊重する
- ・授業だけで完結しようと思わなくてもいい
- ・私立学校として長く続けていけるからこそ、
開けてくる未来もある